

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 5月 20日

事業所名 らいふテラス蛍池

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	個別課題時は集中できるようについたてを使用している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	階段の使用は、少しでも危険を軽減するべく靴下は脱いで手すりにつかまって昇降することを徹底している。	室外のエレベーターから非常扉を開けて室内への出入りは可能だが、普段は室内の階段を使用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	粗大あそびができる空間と集中して遊べるように壁を向いての机上遊びと分かれることで落ち着いて過ごしている。	感染対策として喚起は常に行っている。冬季は加湿器を使用している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	年齢が低い子は生活面も含めて職員全員が発達を理解できるように発達段階の可視化をしている。	終礼でその日の集団活動の振り返りを行い、反省や考察を話し合うことで次回の活動に活かしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		保護者から頂いたご意見を職員で共有し、今後の運営に活かしていけるように、話し合う場を設ける。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価を行うことを検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	月に一度、研修の機会を設けている。	より専門性を高められるように、テーマを設けてスキルアップしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	子どもの成長や課題を保護者と共有し、個別支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		標準化したアセスメントシートを準備し、取り組んでいる。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		保護者のニーズに沿った具体的な支援内容を職員間で情報共有し、サービスを提供している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	月曜日に一週間の集団活動の内容の打ち合わせを行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	集団活動は発達年齢によってグループに分け、活動内容を変え行っている。	ねらいは同じでも活動は楽しく行えるように工夫し、こどもの成長につなげている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		個別活動は職員と1対1で行っている。集団活動は、発達年齢によって活動内容をかえることで、一人ひとりの課題に沿ったプログラムにしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼でその日の支援内容や送迎の打ち合わせ、確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼では必ずその日の振り返りや翌日の打ち合わせを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援記録に加え、個別活動の記録も行っている。	個別記録をつけることで、担当だけでなく全職員が子ども理解できるようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	モニタリングでは、療育の様子を動画で見てもらいながら、子どもの成長や課題を共有している。	6か月に一度のモニタリング以外にも、必要に応じて個別支援計画の見直しをしていく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	/	/		全員セルフプランの為対象児なし
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0		保護者の要望を受けて、関係機関との連携を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		対象児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		対象児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		保護者からの要望がある場合は行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	入学前の保護者には、事前に学校内の見学を申し入れ、子どもの不安を軽減するよう助言している。	保護者の希望でデイでの取り組みや経緯、子どもの特性、配慮点などをまとめ、小学校に申し送りしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		児童発達支援センターと並行して利用する児がいるので、今後連携していく予定。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		関係機関連携で園との連携は行っているが、園児との交流はしていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3		自立支援協議会に参加できるよう、日程を調整していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳や送迎時にはその日の様子やエピソードを伝えている。	保護者と関係をつける為に送迎時に話す機会を増やす。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		モニタリングや面談で子どもの困りごとに対してのアドバイスは行っている。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		契約時には丁寧に説明している。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		児童発達支援管理責任者が直接保護者に説明を行い、同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	連絡帳に悩みが書かれてある場合などにはこちらから面談を申し入れることもある。	保護者から相談の希望があればすぐに面談をし、対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		いろいろな考えの保護者がいるので、保護者会を開催するか検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	保護者から相談の希望があればすぐに面談をし、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	デイでの様子や集団活動の取り組みをInstagramで紹介している。	会報は発行していないが、活動概要や必要な情報は連絡帳と口頭で保護者に伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		個人情報扱書類は、鍵付きの書庫で保管している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	口頭や電話、連絡帳などの手段で必要な情報が保護者に伝わるようにしている。	保護者の特性も考慮し、家庭支援している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		祝日や長期休暇の日には、利用児と周辺散歩することがあり、近所の方に挨拶をしたり、公園で地域の子どもたちとあそぶこともある。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		職員間には周知しているが、保護者にはできていないものもあるので周知する必要がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	月に1度避難訓練を実施している。	火災、地震、不審者対応、水害等を想定して避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		見学時に必ず健康面について聞き取りを行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	ナッツアレルギーの利用児がいるので、ナッツが入っているおやつは購入しないよう注意している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		大きい事故を防ぐためにも、普段からヒヤリハットを作成し、終礼などで情報共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		虐待についての研修を行い、虐待防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		現在身体拘束を行う可能性のある子どもの利用はないが、身体拘束が必要な事例などを職員間で話し合う機会を持った。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。